

終わらないハンセン病問題を考える 映画『もういいかいハンセン病と三つの法律』から

2015年**10月24日** (土) **12時半～18時** (無料・申込み不要)

立命館大学衣笠キャンパス 創思館403・404

講演者：**高橋一郎** (宝塚大学)

指定質問：**延 桂史** (立命館大学大学院社会学研究科)

青木秀光 (立命館大学大学院先端総合学術研究科)

コメント：**やまだようこ** (立命館大学)

＊開催趣旨

ハンセン病患者または回復者は、約1世紀もの間、極めて差別的な法律によって隔離・収容の対象となってきた。本研究会では高橋一郎氏の監督作品である『もういいかい～ハンセン病と三つの法律』(2012)を鑑賞して、その差別的な法律がいかに人々の生活を虐げてきたのかを検討する。また、2015年5月現在、1725名という回復者が療養所で生活するなか何が新たに問題となっているのかを考えたい。加えて、高橋氏には撮る側の視点としての「真実性」や「立場性」の問題についても語っていただく。

＊タイムテーブル

12:30-12:40 趣旨説明
12:40-15:00 映画鑑賞
15:15-16:15 高橋一郎先生講演
16:15-16:45 指定質問
16:55-17:25 コメント (やまだようこ)
17:25-17:40 コメント (高橋一郎)
17:40-18:00 全体質疑

＊高橋一郎 (たかはしいちろう) 先生プロフィール

1953年神戸市生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業
映画監督、宝塚大学准教授

＊問い合わせ：narrative123@gmail.com

＊キャンパスへのアクセス

[http://www.ritsumei.jp/accessmap/
accessmap_kinugasa_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html)
(右のQRコードもご利用ください)

＊駐車スペースがございませんので、ご
来場の際は公共交通機関をご利用下さい。



主催：立命館大学生存学研究センター「生存のナラティブと質的研究会」
共催：日本心理学会ナラティブと質的研究会・
日本発達心理学会ナラティブと質的研究分科会


ナラティブと質的研究会
公益社団法人日本心理学会ナラティブと質的研究会
日本発達心理学会ナラティブと質的研究分科会